

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち1枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	久保 教仁議員	30分	1 自治組織の活性化を	買い物弱者や交通難民、そして限界集落。中山間地域のみでなく、伊佐市の中心部にもこれらを実感する。高齢化が進むなか、これらの不便を少しでも解消するために、自治組織や住民の工夫を生かすための支援が必要ではないか。	市長	担当課長
			2 物産館について	物産館建設への取り組みを進めているとのことだが、その進捗状況はどうか。	市長	
			3 農業政策について	(1) 高齢化が進むなかで、農地の維持・管理をどう考えているか。 (2) 集落営農組合の利点をどのように捉えているか。	市長	

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち2枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	柿木原榮一議員	50分	<p>1 大田地区内の持続的な冠水対策について</p> <p>2 伊佐市の適正な債権管理について</p>	<p>(1) 大田地区内において、昨年から今年にかけ、冠水が数か所あったが、市当局は認識していたか。</p> <p>(2) 対策はどのようなになっているのか。</p> <p>(1) 地方財政法第8条で「地方公共団体の財産は、常に良好の状態においてこれを管理し、その所有の目的に応じて最も効率的に、これを運用しなければならない」と規定され、地方自治法第240条第2項は、「長は、債権について、政令の定めるところにより、その催促、強制執行その保全及び取り立てに関して、必要な措置をとらなければならない」と規定している。政令で催促、担保権の実行、強制執行手続、訴訟手続の徴収停止、履行延期特約免除と規定されている。伊佐市の適正な債権管理に対する考え方は、現状を踏まえ、どうなっているのか。</p> <p>(2) 債権の分類は、公債権と私債権の考え方か、また伊佐市の分類は。</p> <p>(3) 伊佐市債権管理条例（仮称）で「当該市の債権及び当該市の債権に関し、既に発生した履行の遅滞に係る損害賠償金その他の徴収金の全部又は一部を放棄することができる。」という制定は考えられないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	<p>担当課長</p>

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち3枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	山下 和義議員	30分	<p>1 伊佐市の方向性について</p> <p>2 国民健康保険について</p>	<p>市長も議員も、4年後に多くの市民が、「伊佐が元気になってきている」と実感できる市にすべきだ。そこで、次のこととお伺いしたい。</p> <p>(1) 今後4年間の全体的な方向性</p> <p>(2) 雇用対策 ア 若年層に対する雇用対策 イ 50代から60代の方々に対する雇用対策 ウ 市民、企業等に対する雇用支援策 エ 雇用対策のための事業量</p> <p>(3) 高齢者対策と地域商店街との連携 ア 買い物弱者に対する支援策等</p> <p>今後の保険制度について、どのように認識されているか。</p>	市長	担当課長

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち4枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	前田 和文議員	30分	<p>1 市長マニフェスト「農地を守り、品質の良い農産物で農業経営の確立を進める」の内容について</p> <p>2 合併時の共有課題について</p>	<p>(1) 特産農産物の6次産業化（生産・加工・販売の一体化）とあるが、具体的ビジョンと内容を示せ。</p> <p>(2) 農業者所得向上につながるのか。また高齢者の生きがいつくりにもつながる施策なのか。</p> <p>(3) ハード的整備をどの程度必要と考えているのか。</p> <p>(4) 各関係機関との協力連携構築に問題点はないか。</p> <p>(1) 合併のメリット・デメリットを具体的に示せる時期に来ているが、その内容をどのように把握しているのか示されたい。</p> <p>(2) 今後の課題と、対策・施策にどのように取り組んでいくのか。</p>	市長	担当課長

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち6枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	鶴田 公紀議員	40分	1 市長の政治姿勢について	<p>(1) 消防団員の定数・任免・服務等関連について</p> <p>ア 幹部会開催状況と協議内容について</p> <p>イ 定数及び旧大口、菱刈の境界線近くの出動見直し状況について</p> <p>ウ 消防団員の報酬見直しの進捗状況について</p> <p>エ 消防水利について</p> <p>(2) 財源確保による（議員定数削減）運用方法について</p> <p>(3) 総合振興計画と市長の選挙公約（目標将来像）の具体的実施について</p>	市長	担当課長

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち7枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	緒方 重則議員	20分	1 規模拡大が予想される大口育成牧場について	<p>今年4月から大口育成牧場は、県の事業を廃止し、機能は民間移譲された。民間企業の運営により規模拡大され期待している。同時に、悪臭や河川汚濁などの環境汚染が懸念されるが、市としてこれまで、またこれからの対応について見解を伺いたい。</p> <p>(1) 民間移譲が決定されたその前後において、県・市・事業者等の中で協議や説明会等は、どのように行われたのか。</p> <p>(2) 事業規模の今後の計画の内容について把握しているか。</p> <p>(3) 質・量ともに優良な水源施設は、次世代へ守り続けていかなければならないが、関係する河川に隣接する状況のなかで、影響をどのように考えているか。</p> <p>(4) 今後、県・関係自治会とどのように連携して豊かな自然を保護していくか。</p>	市長	担当課長

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち8枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	畑中 香子議員	40分	<p>1 国保税の値下げについて</p> <p>2 介護保険料の減免制度創設について</p> <p>3 こども医療費の拡大について</p> <p>4 教育環境の整備について</p> <p>5 上水道の計画的な敷設について</p> <p>6 鳥獣被害対策について</p>	<p>不況が長引く中、国保加入者にとって国保税の負担が大きく、多くの加入者が支払い困難になっている。国保税の減税は考えられないか。</p> <p>介護保険料の負担軽減策として、減免制度をつくるべきではないか。</p> <p>県下19市のうち、もっとも遅れているこども医療費助成について対象年齢の拡大を検討するべきではないか。</p> <p>小中学校の普通教室にストーブを設置して教育環境を整えるべきではないか。</p> <p>市内の上水道が敷設されていない地域、特に馬渡地区の住民は、近くに産廃場と一般廃棄物処分場があるため、地下水に不安を抱えている。計画的に上水道の敷設を進めるべきではないか。</p> <p>シカの被害を防ぐためのシカネットの助成を、独自に行っている自治体があるが、本市でも独自助成を行うべきではないか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>	<p>担当課長</p>

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち9枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	左近充 議員	20分	1 商工業の活性化について 2 農業所得向上を	(1) 商店街の活性化について (2) 公共事業の拡大について (1) 伊佐米・伊佐牛のブランド化について (2) 6次産業化について (3) 物産館等での販売は	市長	担当課長

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち10枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	福本千枝子議員	40分	1 市民生活の安心について	<p>(1) 今回の選挙の広報活動で感じたのは、この伊佐市内に後継者のいない虚弱老人や高齢者世帯、とくに山間部に点在している状況を実感した。この事をどう把握され、今後どのように対処していくのか。現在、デマンド交通や路線バスの変更を実施しているが、利用状況はどうか。通院や買い物等の交通手段をどうしていくべきか、また、見守りについてもどう対処していくか伺いたい。</p> <p>(2) 伊佐市は「障がいを持つ人にやさしいまち」とし、特に障がい児について、県内はもとより県外からも視察が訪れるほど、自慢できるまちである。そこで、障がいを持つ人の施設利用などにも目を向けてほしい。健常者と同じように、一日ゆっくり温泉に入りたいとの要望がある。もちろん、介助が必要となるが、まごし館を開放し、入浴できる状況はつくれるか伺う。</p>	市長	担当課長
			2 曾木の滝観光について	<p>(1) 旧曾木大橋の存続について質問してきた。アンケート調査をされたと聞いているが、結果はどうだったのか。また、国や県との協議もされているのか。決断の時に来ていると思うがどう判断されるか伺う。</p> <p>(2) 「もみじ祭り」の前後2週間は紅葉を求め、多くの観光客が訪れ、新しい駐車場は間に合わなかったが、多目的トイレについては利用が多く、成果があらわれた。新曾木大橋からの展望も多く、もっと紅葉を増やすべきではないかと感じたが、新曾木大橋周辺にもみじの植栽の考えはないか。</p>	市長	

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち11枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	中村 周二議員	30分	<p>1 曾木の滝公園の整備について</p> <p>2 安心して出産できる環境づくりについて</p> <p>3 消防団の活用について</p> <p>4 周回バスについて</p> <p>5 布計地区水道の井筒管理について</p>	<p>曾木の滝公園は花が少なく、子供の遊具がない。親しみのある公園として、もみじと花の公園として整備できないか。</p> <p>出産育児一時金として42万円が支給されるが、人吉市内の病院での出産費はこれで十分足りると聞く。一方、伊佐市内ではギリギリとのことなので、伊佐市内での出産は少ないのではないかとと思われる。伊佐市内でもっと多くの人が出産できるような方策は考えられないか。</p> <p>消防の規律訓練や、はしごの演技等大人の真剣な活動を学校教育の現場で、活用できないか。</p> <p>曾木地区にデマンド交通以外で、1ヶ月に2回程度、周回バスを走らせることはできないか。</p> <p>布計地区水道は、伊佐市で井筒を設置していただきありがたいが、雨が降った後は掃除に行かないと出なくなる。住民は高齢で、除去作業が大変なので、対策を講じてもらえないか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p> <p>市長</p>	担当課長

平成24年第4回定例会一般質問

平成25年1月9日・10日

(12枚のうち12枚目)

順位	発言者	発言時間	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	岩元 克頼議員	30分	<p>1 地元商店街消滅に伴う対策</p> <p>2 市が管理する橋梁の長寿命化計画について</p>	<p>(1) 市内周辺部等において、年々商店が消滅している。住民生活は大変不便なものとなり、地域の活力が失われつつあるが、これに対する市の具体的な方策を伺いたい。</p> <p>(1) 橋梁点検結果の総括</p> <p>(2) 詳細点検を行った結果、損傷度5以上かつ供用年数50年以上の橋梁の状態。</p> <p>(3) 今後の修繕計画の概要と必要額の推計及び財源見通し（現時点でわかる範囲）</p>	市長	担当課長